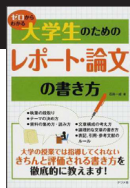


ふらっと おすすめの レポート・論文対策本

CO-OP 立命館生協ブックセンター



① ゼロからわかる大学生のためのレポート・論文の書き方

石井一成 著 / ナツメ社

単行本では全国の大学でよく売れている：1,642冊（15年1月～15年12月）。図や例文が多く、文字も大きいので読みやすい。卒業論文の書き方まで載っており、4年間使える大学生向け。

税抜定価 ¥1,100



② 学生による学生のためのダメレポート脱出法

慶應義塾大学日吉キャンパス学習相談員他 著 / 慶應義塾大学出版会

コピーではなく正しい引用を！レポートに特化した内容で1回生向き。書き方だけでなく、テーマ設定や資料集めなどのレポートを書くまでの準備まで丁寧に書かれている。タイトルにもあるようにダメなレポートは何がいけないのか？がより詳細に書かれている。

税抜定価 ¥1,200



③ コピーと言われないレポートの書き方教室

山口裕之 著 / 新曜社

コピーではなく正しい引用を！より評価の高いレポートを作成するためにおすすめ。参考文献の引用の説明が他の本に比べて詳しい。

税抜定価 ¥1,200

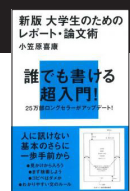


④ 「文化系」学生のレポート・卒論術

渡辺潤他 著 / 青弓社

文化系≠文系。文系学生で音楽・映画・メディア・ジェンダーなど社会学の分野を題材にレポートや論文を書く学生さんのための本。ある程度レポートの書き方が理解できていて、社会学を専攻する学生さん向け。または一般教養科目でジェンダー論やメディア論のレポートを書く学生さん向け。産業社会学部、映像学部の方々におすすめ！

税抜定価 ¥1,600



⑤ 新版 大学生のためのレポート・論文術

小笠原喜康 著 / 講談社

2002年に刊行され、25万部の超ロングセラー。大学生協では今も広く読まれています。レポートや論文を作成する際にはWordを使用する機会が多く、オンラインで手に入る文献も多い。本書はWordをより効率的に活用する方法や、オンラインツールを用いた文献検索の方法、さらにはPower Pointの作り方など実際にレポートや資料を作成するために必要なパソコン関連のテクニックを、丁寧に説明したマニュアル本である。レポート・論文を書く際の基本情報も、具体例を用いて、視覚的に過不足なく説明されている。

税抜定価 ¥740



⑥ レポート・論文の書き方入門

河野哲也 著 / 慶應義塾出版会

シンプルに要点をまとめた、レポート・論文の入門書。本書最大の特徴は、レポートや論文の基本的な書き方を説明するだけでなく、テキスト批評という「論理的・批判的に思考し議論する力」を養うための練習法を提起している点である。じっくりと着実に、本質的なアカデミック・スキルを伸ばしていきたい人にオススメ。コンパクトで手に取りやすいため、レポートを初めて書く人の導入としても適している。

税抜定価 ¥1,000



⑦ 論文の教室

戸田山和久 著 / NHK出版

大学生協ではいちばんよく売れています。大学生向けのレポート・論文の書き方講座や授業などで、幅広く活用されている本。レポート・論文の核となる論証のテクニックから、魅せる文章の書き方まで網羅されている。レポートや論文の作成過程を時系列で教えてくれ、じっくりと学習するのに最適。筆者の漫談調で、読み物としても面白い。

税抜定価 ¥1,200



⑧ 大学生と大学院生のためのレポート・論文の書き方

吉田健正 著 / ナカニシヤ出版

コンパクトなのに、レポート・論文の書き方や形式、引用文献の示し方だけでなく、わかりやすい文章の書き方、適切な言葉の使い方などについても細かく説明されている。「レポート・論文の書き方」というテーマにふさわしく、ムダのない文章で読みやすい。目次も端的で知りたい事が探しやすい、いざというときに役立つ本。

税抜定価 ¥1,500